

令和7年度 事業計画書

2025 Business plan

基本方針

運営方針

事業所マップ

実施事業一覧

施設別事業計画

年間研修計画

事業別実施目標



INDEX

I 基本方針	2
II 運営方針	3
III 事業所マップ	8
IV 実施事業一覧	9
V 施設別事業計画	
1. 特別養護老人ホーム美原荘 軽費老人ホーム（ケアハウス）和風荘 特別養護老人ホーム美原荘「すこうの郷」	11
2. 特別養護老人ホーム春日丘荘 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」	13
3. 特別養護老人ホーム四條畷荘 養護老人ホーム四條畷荘	15
4. 特別養護老人ホーム光明荘	17
5. 特別養護老人ホーム高槻荘	19
6. 特別養護老人ホーム白島荘	21
7. 東大阪養護老人ホーム	23
8. 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか 特別養護老人ホーム永寿園とよなか	25
9. 軽費老人ホーム（ケアハウス） 豊寿荘 特別養護老人ホーム豊寿荘	27
10. 軽費老人ホーム万寿荘	29
11. 軽費老人ホーム河南荘	31
12. OSJ工房よりそいの丘	33
13. 障がい者支援施設みずほおおぞら 特別養護老人ホームみずほおおぞら	35
14. 介護老人保健施設かがやき	37
15. OSJ人材育成センター	39
16. 事務局	40
VI 年間研修計画	43
VII 事業別実施目標	45

基本方針

令和7年度は2025年問題に入る年であり、それに伴う生産年齢人口の減少による労働力問題等多くの課題が表出し、また、世界情勢の不安定さからの物価高騰の影響は解消される兆しはなく、経営環境は引き続き厳しい状況下になることが想定されます。

そのような中、継続的かつ安定的な法人運営を実現していくため、人材の確保と人材育成はもちろん、サービスの質の向上と働きやすい職場環境の整備、在宅サービス等のさらなる発展のための事業展開、非常災害時対策と地域における公益的な取り組みを推進していきます。

人材の確保と人材育成は、最重点課題として位置づけ、大学等との研究や当法人の施設を活用したフィールドワーク等により関係を構築しながら、リクルーターの活動、SNSを活用したリファラル採用をより一層充実させるとともに、他府県への採用活動などの取り組みを進めます。そして、昨年度から取り組んでいるインドネシアのポリテクニク国立看護大学とのインターンシップを継続し、特定技能外国人の雇用枠の拡大と、すでに入国している外国人介護人材が将来リーダー職員となれる教育プログラムを確立させます。また、将来法人の中核を担う職員を育成するためのリーダー職員向けの新たな研修プログラムを構築します。

昨年度に導入した見守りカメラ等のICT機器については、その導入効果の評価を行いながら、今年度も導入を進めるとともに、LIFEのフィードバックデータを有効活用することで、科学的根拠にもとづいた個別サービスをより一層充実させる取り組みを推進していきます。

働きやすい職場環境の整備については、外部委託機関の力を借りながらメンタルヘルスケアに関する知識や職員間のコミュニケーション力の向上を図り、業務の省力化による時間外労働の削減に向けた取り組みを進めます。

在宅サービスのさらなる発展のため、訪問系サービスと居宅介護支援事業所の業務省力化や大規模化による経営効率を高めることを目的に、具体的な経営目標の設定にもとづいた中期計画を立案し実行します。

新たな事業では、昨年度より準備を進めてきた箕面市立障害者自立支援センターいろはもみじ萱野において、医療的ケアが必要なご利用者の受け入れを行うことで、障がい児・者の在宅生活を支えます。また、豊中市の児童育成支援拠点事業では、集いの場の整備だけではなく、地域と連携しながら必要な支援へ繋げていきます。当法人においてはそれぞれ初めてのチャレンジとなり、これらの事業を安定的に実施することはもちろん、事業運営を通じて得られたものを全員が学び、次の法人経営に活かしていく意識を持ちながら、一丸となって取り組んでいきます。

非常災害時対策については、ご利用者と職員の命を守ることを最優先に、昨年度から進めている備蓄庫の整備、非常用発電機の計画的設置を進めながら、それらを活かした業務継続計画（BCP）に見直し、災害時における地域との連携、支援についても検討するとともに、地域における公益的な取り組みについては、それぞれの拠点、事業所の職員一人ひとりが地域からの声を拾いながら、それを迅速に必要なサービスとして提供できるよう、引き続き積極的に取り組んでいきます。

これらの取り組みについては、当法人の持てる力を最大限発揮することはもちろん、引き続き多くの法人との関係を大切にしながら、より大きな成果が得られるよう着実に進めていきたいと考えています。

最後になりますが、これからのさまざまな課題や困難を乗り越えていくことが、当法人を躍動させ、地域福祉をより一層推進させるための機会と前向きにとらえながら、法人のVision「可能性を高め、地域とともに躍動する法人へ」を体現すべく、明るく前向きな検討と実践を積み重ね精進して参りますので、引き続き、皆様方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

理事長 行松 英明

運営方針

＜職員の可能性を高める＞

1. 職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

- (1) 令和6年度に介護職員を対象に運用を開始したラダー教育システムについては、その運用を継続し定着を図るとともに、他職種等の職員を対象としその運用範囲を拡大する。
- (2) 将来の管理職を育成するためリーダー養成自己啓発研修の内容の充実を図るとともに、管理職に対する1年間の継続的な研修プログラムの提供、一般職を対象としたステップアップ研修を計画し実施する。
- (3) 職員自らがスキルアップを目指せるよう、福祉や介護に関連する資格試験対策のさらなる充実、認知症リーダー研修等の外部研修も含めた専門性の高い研修体系を構築し、多角的な自己研鑽と学習機会を提供する。
- (4) 施設サービス職員、在宅サービス職員の事業所間のインターシップを進めることで、相互の業務内容ややりがいなどの理解を深められる機会を創出する。
- (5) 新卒者及び中途採用者のキャリアデザインをサポートできるよう、職員一人ひとりの思いや適性等を踏まえた個別の教育プログラムを提供する。

2. 働きやすい環境作りに向けた取り組みの推進

- (1) メンタルヘルスケアに関する知識の向上とコミュニケーション力を向上させるため、外部委託先からの管理職及び役職者を対象とした定期訪問による面談や研修を実施する。
- (2) 現在の法人内副業をより一層推進するとともに、他事業所への支援業務だけでなく職員の強み・特技を生かした活躍の機会を提供する。
- (3) インターネットを介した情報漏洩やウイルス感染及び内部アクセスの制限等、法人における情報セキュリティについての標準化を図るための運用ルールを構築する。
- (4) 長時間労働にならない体制づくりとして、時間外労働になる要因を具体的に把握することのできる労務管理の在り方、各職種の事務システムの見直しや業務省力化のためのICT機器の導入を進める。
- (5) ライフステージの状況に柔軟に対応し、より働きやすい職場環境を構築するため、育児・介護休業法の改正にもとづいた制度への対応と、リフレッシュ休暇や不妊治療休暇等の新たな休暇制度の創設について検討する。
- (6) 心身の不調等により長期のブランクがあり、継続的に就労することが難しい状況でも支えることができるよう、業務の細分化を図り働き続けることのできる多様な環境を整備する。

3. 職員の働きがいを高め、成長を実感できる取り組みの推進

- (1) 介護技術、生活支援技術に焦点をあてた仕事の魅力、働きがいや工夫などの取り組みを共有する機会を増やすとともに、外部への情報発信を行う。
- (2) 法人理念の行動指針（Value）をより一層浸透させるため、仕事の中で得られた喜びを共有できるよう、毎月発刊する「はあとLETTER」の内容をさらに充実させる。
- (3) SNSのより一層の有効活用やメディア向けにプレスリリースを作成するなど、斬新な広報活動を行うことで、法人のイメージアップを図る。
- (4) 国の処遇改善等の施策の方向性を見定めながら、必要な給与・人事制度についての見直しを検討する。

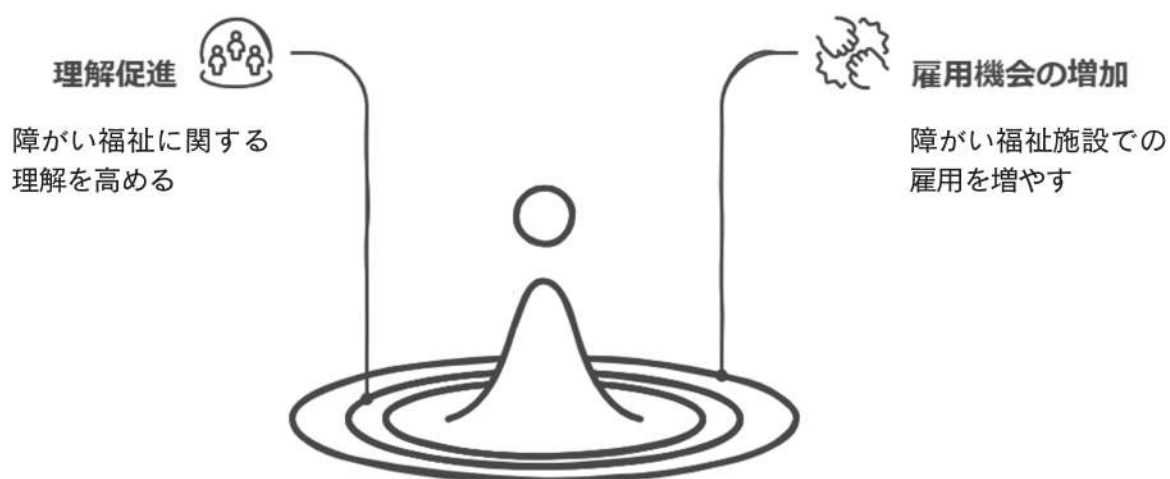
4. 人材確保のための取り組みの推進

- (1) SNSを活用したりファラル採用の取り組みをより一層進めるとともに、地域からの雇用をより推進するため、OSJとよなかケアスクールにおける介護福祉士資格取得を含めた、近隣高校生のアルバイト雇用や定時制、通信制高校、児童養護施設等からの雇用を進める。
- (2) 実習生の受け入れを増やせるよう、実習を通じて福祉業界に魅力を感じ、就労につなげるための受け入れ体制及びプログラムの整備を行う。
- (3) インターンシップがより魅力的に感じられるように、実際の福祉現場を体験できる取り組みや希望した職種の体験が各施設で可能となる受け入れ方法の標準化を図る。
- (4) リクルーターの活動について、大学や専門学校との連携をより一層深めるため、学校との共同研究やフィールドワークへの協力、行事への参加等を進め、その取り組みの評価を行う。
- (5) 障害者雇用について、令和8年度の法定雇用率の見直しを見据えた取り組みを進め、各施設における法定雇用率を令和7年度中に達成する。

5. 外国人介護人材の雇用促進のための取り組みの推進

- (1) 外国人介護人材がリーダー職員を目指すことができるように、施設職員の指導方法の標準化を図り、教育ラダースキルブックの導入及び評価を行う。
- (2) eラーニングを活用した日本語能力試験や介護福祉士資格試験の試験対策講座を提供するとともに、管理システムを導入することで教育の見える化を図り、サポートしやすい環境を整える。
- (3) 東南アジアを中心とした新たな送り出し機関とのルート確保を行い、より一層安定した人材の確保ができる体制を構築する。
- (4) インドネシアのポリテクニク国立看護大学からのインターンシップ生の受け入れを継続するとともに、卒業後の早い段階で特定技能としての入国が可能となるためのプログラムを充実させる。
- (5) 特定技能外国人の受け入れについて、現地における障がい福祉の理解促進を図る取り組みを行うとともに、障がい福祉施設での雇用を進める。

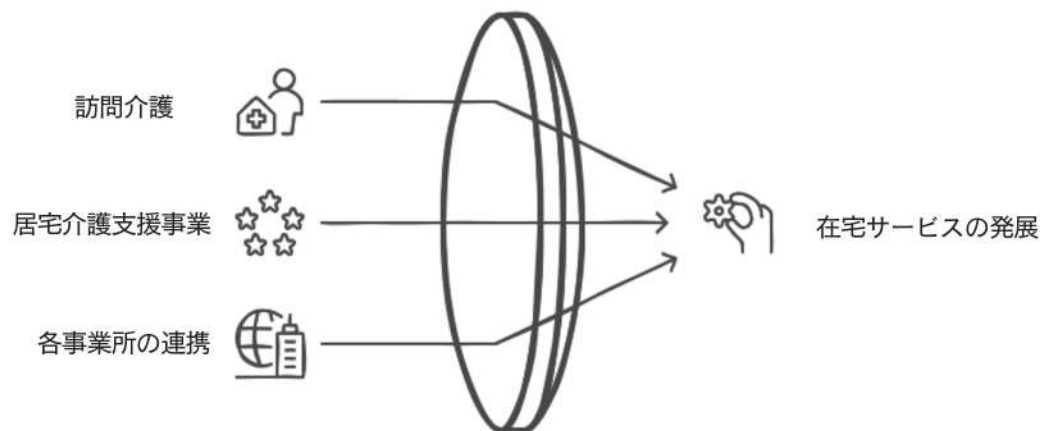
障がい福祉における特定技能外国人の受け入れ



＜法人の可能性を高める＞

1. 在宅サービス事業等の強化のための取り組みの推進

- (1) 訪問系サービス及び居宅介護支援事業所の今後の在り方について、経営目標を設定するための指標の作成及び実績に応じた給与体系の検討などを含めた中期計画を策定し実施する。
- (2) 在宅事業におけるICT化を推進し業務効率、生産性の向上を図るとともに、機器により得たデータを根拠にサービスの質の向上を図る。
- (3) 訪問介護事業所の人材不足解消に向けての副業制度のさらなる活用と、特定技能外国人の小規模多機能型居宅介護や特定施設入居者生活介護での就労等の経験を通じて、訪問介護事業所の訪問介護職員への移行を進める。
- (4) 訪問介護事業所及び通所介護事業所が連携し、複数事業を一括管理することによるサービスの連動性、効率化を高めるためのモデル的な取り組みを推進する。
- (5) 訪問介護においてACP(アドバンス・ケア・プランニング)のさらなる普及と、喀痰吸引等研修の受講をさらに推進するとともに、訪問看護等との連携を図りながら、看取り期のケアに対応できる人材育成を図る。
- (6) 高齢分野、障がい分野、児童分野のサービスの質の向上を図るために、外部の関係機関との交換研修や見学を実施する。
- (7) 箕面市立障害者自立支援センターいろはもみじ萱野の安定的な事業運営ができるよう、医療的ケア等の受け入れを進めるとともに、箕面市内の事業所との連携を図る取り組みを進める。
- (8) 豊中市の児童育成支援拠点事業に取り組みながら、法人内の事業所を有効活用した子育て支援事業のさらなる拡大を検討する。



2. 効率性の高い業務体制の構築と DX 化の推進

- (1) 昨年度導入した、ICT・DX化等の機器、介護ロボット等について、数値等の見える化を行いサービス内容の可視化を図ることで効果的な運用につなげる。
- (2) ICT機器のより一層の有効活用を進めるため、職員のICTリテラシーの向上を目的とする研修を実施するとともに、現状の課題を踏まえた新たな機器の導入について検討する。
- (3) 日本介護福祉社会が作成している「デジタル・テクノロジー基本研修ガイドライン」をもとに、生産性向上を推進する人材を育成する。
- (4) 電話の取次ぎや在席の確認などの時間を減らし、業務効率化に取り組むための環境整備を行う。
- (5) 電子契約システムの運用と評価、書類の電子保存の範囲の拡大に向けての体制を強化し、順次実施する。

3. 施設整備計画の策定と施行

- (1) 各事業の多角化・多機能化を図り、既存事業の収支状況や社会的意義、将来予測を踏まえた施設ことの中期的な視点の事業計画の作成を開始する。
- (2) 万寿荘の大規模改修工事の基本設計及び実施設計を進めるとともに工事に着手する。
- (3) 中長期保全計画をもとに、専門家からの意見徴収、調査を実施しながら必要な工事を必要な時に実施するため年次計画を作成する。
- (4) OSJ工房よりそいの丘におけるこれからの事業展開について、他法人等との連携を視野に入れた今後の事業計画を策定する。

4. 質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

- (1) 記録や機器の分析データを活用し科学的根拠にもとづく支援を定着させるため、LIFEのフィードバックデータをより有効活用できる分析ツールを導入する。
- (2) 今後の食事提供のあり方について、現状の提供方法の継続だけでなく多様な食事提供方法について検討する。
- (3) 施設サービスにおいて、歯科、口腔外科・内科など外部機関等との連携も含めたミールラウンドの強化による口腔機能の向上を図り誤嚥性肺炎等の入院者を減らす取り組みを推進する。
- (4) 各施設の身体拘束廃止・虐待防止のための取り組みの推進に向け、昨年度のコンプライアンス委員会での取り組みの総括を踏まえた計画にもとづく、より一層効果的で体系立てた取り組みを進める。
- (5) 保育・児童サービスのさらなる質の向上を図るために、企業主導型保育事業及び児童発達支援事業所の職員間におけるサービスの質に着目した研修や検討会を行う。
- (6) 保育サービス内容の充実のため、他法人からのコンサルテーション及び施設見学、合同研修を行うとともに、児童発達支援事業の推進と人材育成のための他法人との人事交流を継続する。
- (7) 他法人と連携し、重度者から就労支援サービスまで幅広くサービス展開できるネットワークを構築し、多様な障がい者の受け入れ体制を整備する。

5. 多様化するリスクに対応できる体制の構築

- (1) 大規模災害時のライフラインの確保のための非常用発電機の設置について、順次導入できるよう大阪府の補助金の状況を把握しながらその申請と準備を進める。
- (2) 大規模災害や保険で賄えない訴訟リスク等、経営に大きな打撃を与える事象に備えた、運転資金や移転費用等を想定した積立金の確保について検討する。
- (3) 非常災害時の対策として南北それぞれに法人備蓄倉庫を設置し、ローリングストックも含めた管理を行うとともに、防災アプリのさらなる有効活用を進める。
- (4) 災害時の相互応援協定を締結している全事協近畿ブロック16法人や、個別に災害時応援協定を締結している法人との連絡・応援体制の更なる強化を図る。
- (5) 各種ハラスメント防止における取り組みの強化と、発生予防のための研修の充実及びマニュアルの見直しを図る。
- (6) 労務トラブルによる苦情等の対応について、事務局体制の整備を検討するとともに、事例の積み上げとその内容と対応について専門家の意見も含めた対応マニュアルを作成する。

<地域の可能性を高める>

1. 地域における公益的な取り組みのより一層の推進

- (1) 地域における公益的な取り組みについて、各地域のニーズ把握をもとに積極的に取り組むとともに、その実績をもとに必要性和発展性を鑑み段階的に専門職を配置する。
- (2) 地域社会の子ども支援ニーズの充足に向けて、各拠点で子どもの居場所づくりや子育て世帯の支援等に積極的に参画する。
- (3) 行政サービスのみでは充足し難い多世代交流拠点やコミュニティスペースの設置、住まいの課題への取り組みを推進するため、空き家の有効活用などの方法を検討する。

2. 重層的支援体制構築のための取り組みの推進

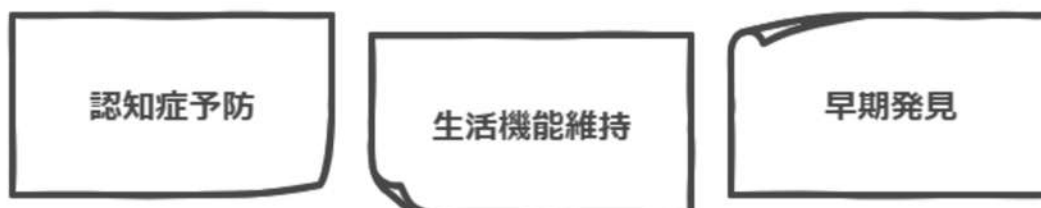
- (1) 属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める体制整備として、各市の方向性を把握し、多様化・複雑化する地域ニーズに柔軟に対応できる相談機能の設置などの委託事業の受託について検討する。
- (2) 施設の利活用を含めた世代や属性を超えて交流できる居場所を整備し、交流・参加・学びの機会を生み出すためのプラットフォームの形成に向けた取り組みを推進する。
- (3) 地域の関係機関とのネットワークや各種会議に参加し連携強化を図るとともに、既存のサービス事業所を拠点としたアウトリーチの取り組みを進める。

3. 地域の課題解決力を高めるための取り組みの推進

- (1) 自治会等と継続的に連携を図り、福祉に関する講座等を行いながら、次世代の育成に寄与する。
- (2) 民生委員・児童委員と情報や事例などの共有に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取り組みを進める。
- (3) 非常災害時の対策として地域との連携強化のため、災害発生時の地域の抱えるリスクを把握し、災害時に地域住民と助け合う仕組みを構築する。

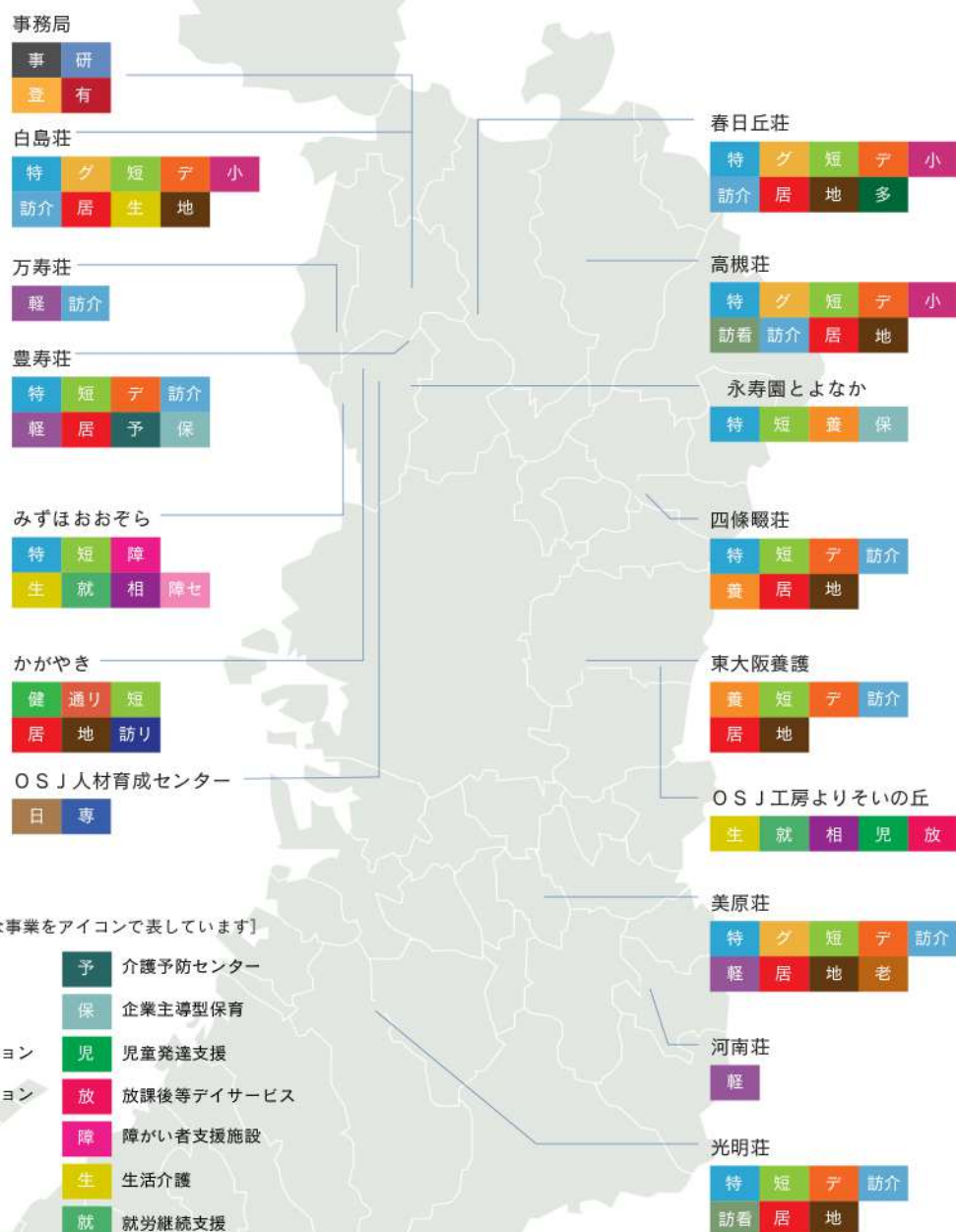
4. 地域の認知症高齢者の課題への取り組みの推進

- (1) 市の認知症施策に対する取り組みについての情報収集を行いながら、各事業所で培った認知症に関する取り組み実績や情報を有効活用し、認知症基本法に沿った取り組みの指針を策定する。
- (2) 地域の子どもたちへの認知症やビジネスケアラールへの理解を促進するため、学校や企業などへ職員を派遣し授業や研修の機会を提供する。
- (3) 地域で在宅生活を継続するための支援体制を整備するために、認知症の予防、フレイル予防、MCI（軽度認知症）を含む早期発見・対応できるための研究を進める。



MAP

事業所マップ



■ アイコンについて [主な事業をアイコンで表しています]

特	特別養護老人ホーム	予	介護予防センター
健	介護老人保健施設	保	企業主導型保育
通リ	通所リハビリテーション	児	児童発達支援
訪リ	訪問リハビリテーション	放	放課後等デイサービス
グ	グループホーム	障	障がい者支援施設
短	短期入所生活介護	生	生活介護
デ	デイサービス	就	就労継続支援
小	小規模多機能型居宅介護	相	相談支援
訪介	訪問介護	障セ	障害福祉センター
訪看	訪問看護	研	OSJ研修・研究センター
軽	軽費老人ホーム	事	事務局
養	養護老人ホーム	専	専修学校
居	居宅介護支援	日	日本語学校
地	地域包括支援センター	登	登録支援機関
多	多世代交流センター	有	有料職業紹介事業
老	老人福祉センター		

実施事業一覧

	高齢者福祉サービス	
	施設サービス（定員）	居宅サービス（定員）
美原荘	- 特別養護老人ホーム（120名） - 軽費老人ホーム（70名）	- 居宅介護支援 ■ 訪問介護 ■ 通所介護（42名） ■ 短期入所生活介護（美原20名・すこう10名） ■ 特定施設入居者生活介護（軽費定員の内30名）
春日丘荘	特別養護老人ホーム（120名）	■ 居宅介護支援（春日丘・南茨木） ■ 訪問介護 ■ 通所介護（春日丘40名・沢池45名日曜のみ30名・南茨木45名日曜のみ30名） ■ 短期入所生活介護（春日丘12名・彩の家11名）
四條畷荘	- 特別養護老人ホーム（120名） ■ 養護老人ホーム（50名）	■ 居宅介護支援 ■ 訪問介護 ■ 通所介護（37名） ■ 短期入所生活介護（10名） ■ 特定施設入居者生活介護（養護定員の内15名）
光明荘	特別養護老人ホーム（120名）	■ 居宅介護支援 ■ 訪問介護 ■ 訪問看護 ■ 通所介護（40名） ■ 短期入所生活介護（20名）
高槻荘	特別養護老人ホーム（100名）	■ 居宅介護支援（高槻荘・桃園） ■ 訪問介護（郡家・桃園） ■ 通所介護（40名） ■ 訪問看護 ■ 短期入所生活介護（10名）
白島荘	特別養護老人ホーム（90名）	■ 居宅介護支援 ■ 訪問介護 ■ 通所介護（共生型）（31名） ■ 短期入所生活介護（10名）
東大阪養護	■ 養護老人ホーム（150名）	■ 居宅介護支援 ■ 訪問介護 ■ 特定施設入居者生活介護（養護定員の内70名）
永寿園とよなか	■ 養護老人ホーム（70名）	■ 短期入所生活介護（11名） ■ 特定施設入居者生活介護（養護定員の内30名）
豊寿荘	- 特別養護老人ホーム（50名） ■ 軽費老人ホーム（100名）	■ 居宅介護支援（ゆたか・ひがしまち・ねいろ・ひだまり） ■ 訪問介護（ゆたか・ひがしまち） ■ 通所介護（ゆたか40名・ねいろ45名・かなで45名・ひだまり45名） ■ 短期入所生活介護（10名） ■ 特定施設入居者生活介護（軽費定員の内50名） ■ 通所型サービスA（ゆい10名）
万寿荘	■ 軽費老人ホーム（50名）	■ 訪問介護
河南荘	■ 軽費老人ホーム（90名）	
OSJ工房よりそいの丘		■ 通所介護（共生型）（20名）
みずほおおぞら		■ 短期入所生活介護（11名）
かがやき	■ 介護老人保健施設（100名）	■ 居宅介護支援 ■ 短期入所療養介護 ■ 通所リハビリテーション（47名） ■ 訪問リハビリテーション
OSJ人材育成センター		

障害福祉サービス		
地域密着型サービス（定員）	訪問系サービス・日中活動系サービス 居住系サービス・相談支援 施設入所支援(定員)	その他（定員）
■ 地域密着型特別養護老人ホーム（29名） ■ 認知症対応型共同生活介護（18名） ■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護 ■ 生活介護（基準該当） ■ 移動支援 ■ 短期入所	■ 地域包括支援センター ■ 老人福祉センター・総合福祉会館 ■ 福祉有償運送 ■ シルバーハウジング生活援助員派遣事業
■ 地域密着型特別養護老人ホーム（29名） ■ 認知症対応型通所介護（春日丘GH3名・彩の家10名） ■ 小規模多機能型居宅介護（登録27名） ■ 認知症対応型共同生活介護（9名）	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護 ■ 移動支援	■ 地域包括支援センター ■ 多世代交流センター（沢池・南茨木） ■ 在宅介護支援センター ■ 福祉有償運送
	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護 ■ 移動支援 ■ 短期入所	■ 地域包括支援センター ■ 福祉有償運送 ■ 通学支援事業
	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護 ■ 生活介護（基準該当） ■ 短期入所	■ 地域包括支援センター ■ 認知症機能強化型地域包括支援センター ■ 福祉有償運送 ■ 在宅介護支援センター
■ 認知症対応型通所介護（GH6名・高槻荘12名） ■ 小規模多機能型居宅介護（登録29名） ■ 認知症対応型共同生活介護（18名）	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護 ■ 短期入所	■ 地域包括支援センター ■ 介護職員初任者研修事業 ■ 配食サービス ■ 子育て世帯訪問支援事業
■ 認知症対応型通所介護（3名） ■ 小規模多機能型居宅介護（登録27名） ■ 認知症対応型共同生活介護（9名）	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護 ■ 生活介護(20名) ■ 生活介護(60名予定) ■ 地域活動支援(10名) ■ 特定相談支援 ■ 障がい児相談支援	■ 地域包括支援センター ■ 福祉有償運送
■ 通所介護（定員18名）	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護	■ 地域包括支援センター ■ 福祉有償運送 ■ 東大阪市生活支援事業（短期宿泊）
■ 地域密着型特別養護老人ホーム（29名）		■ 養護短期入所：養護定員とは別途定員5名 ■ 企業主導型保育（12名）
	■ 居宅介護（ゆたか・ひがしまち） ■ 重度訪問介護（ゆたか・ひがしまち）	■ 福祉有償運送 ■ 訪問リハビリテーション ■ 介護予防センター（原田、服部、千里、柴原、庄内、高川） ■ シルバーハウジング生活援助員派遣事業 ■ 企業主導型保育（19名） ■ 子育て世帯訪問支援事業
	■ 居宅介護 ■ 重度訪問介護	■ 生活支援体制整備事業
		■ 福祉有償運送
	■ 生活介護(20名) ■ 就労継続支援B型(20名) ■ 児童発達支援 ■ 放課後等デイサービス } (10名) ■ 特定相談支援 ■ 障がい児相談支援	■ 委託相談支援事業
■ 地域密着型特別養護老人ホーム（29名）	■ 生活介護(みずほ40名・みのり40名) ■ 就労継続支援A型(10名) ■ 就労継続支援B型(25名) ■ 施設入所支援(21名) ■ 短期入所(10名) ■ 日中一時支援(10名) ■ 特定相談支援 ■ 一般相談支援 ■ 障がい児相談支援	■ 基幹相談支援センター ■ 障害福祉センター運営業務 ■ 地域生活支援拠点（多機能型）
		■ 地域包括支援センター
		■ OSJとよなかケアスクール（専修学校） ■ OSJ日本語アカデミーとよなか

笑顔いきいき
365日

美原荘



運営方針

『困ったときの美原荘グループ』として、つながる全ての人の幸せを支えます。

日々の業務に遊び心をプラスし、既存の枠にとらわれない自由な発想により、高いパフォーマンスを発揮できる職場を作ります。

パフォーマンスを質の高いサービスに変換し、ご利用者に提供します。

楽しいことも困ったことも分かち合い、共に地域づくりに携わることができるよう、地域のレギュラーメンバーを目指します。



重点項目

ICT機器・介護ロボットを活用し、業務の効率化を図り、生産性を高めます。

- 介護職員の巡回・体位交換・居室の温度湿度管理にかかる時間を短縮、ご利用者にかかわる時間を増やし個別支援の充実を図ります。
- 温度湿度管理機器を導入し、施設内の温度湿度を快適に保ち、気候の変化に伴うご利用者の体調不良を防ぎます。
- ご家族等との情報共有をデジタル化し、生活相談員の事務処理にかかる時間を短縮、利用率の向上に取り組み経営の安定を図ります。
- AIの活用により、会議録や資料作成にかかる時間を短縮し、職員の事務負担を軽減するとともに作業効率を高めます。
- デマンド管理機器を併用し、電気料金の削減に努めることで、物価高騰による経営への圧迫を軽減します。

実施事業一覧

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| ■ 特別養護老人ホーム美原荘(定員120名) | ■ 美原荘訪問介護事業所 |
| ■ 短期入所生活介護(定員20名) | ■ 堺定期巡回随時対応ケアサポート |
| ■ 軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘(定員70名) | |
| ■ 特別養護老人ホーム美原荘「すこうの郷」(定員29名) | (堺市委託事業) |
| ■ 短期入所生活介護(定員10名) | ■ 美原第1地域包括支援センター |
| ■ 美原荘グループホーム「すこうの郷」(定員18名) | ■ 堺市立美原老人福祉センター、美原総合福祉会館 |
| ■ 美原荘デイサービスセンター(定員42名) | ■ 堺市立東老人福祉センター |
| ■ 美原荘居宅介護事業所 | ■ 堺市立北老人福祉センター |
| ■ 特別養護老人ホーム美原荘診療所 | ■ シルバーハウジングLSA(堺市高齢者居宅生活支援業務) |



重点項目

老人福祉センターの新たな指定期間のスタート、適正な運営管理の実施

- 入浴サービスに替わる新たなサービスとして、健康測定結果に基づき、ご利用者の状態に応じた必要かつ最適な介護予防プログラムを提供し、介護予防のトータルコーディネートの推進を通して、老人福祉センターの新たな価値の創出に寄与します。

職場環境の改善を図り、職員のモチベーションを高めます。

- 職員交流やリラックスできる執務空間として、現場から離れた場所に職員のフリースペースを設置し、介護職員がフリースペースで事務処理できる時間を確保します。



ステップアップ事業

将来につなげる在宅サービスの変革

- 在宅サービスにおけるICT化の推進

達成目標

- 1.在宅サービス全事業所において、関係者との電話や文章によるコミュニケーションをチャットに変更し、情報共有にかかる時間の短縮を図ります。
- 2.通所介護、訪問介護、定期巡回において、請求書・領収書等をWEB帳票に置き替えます。

- 堺市東区エリアへの在宅サービスの進出を目指し、美原荘居宅介護支援事業所の規模拡大に取り組みます。

達成目標

- 1.介護支援専門員10名規模の事業所を目指します。
- 2.堺市東区エリア進出の基盤づくりとして、すここの郷拠点を活用し、東区エリアのケアマネジメント件数を増やします。

地域公益事業

地域高齢者の日常的な困りごと解決

SNSでのコミュニケーション及びアウトリーチにより、電球交換や重量物の移動など、日常的な困りごとを解決し、高齢者の孤立や不安の解消に努めます。

取組効果

年間出動10回以上を目指します。

今日行く
(共育) 道を未来
につなげる

春日丘荘



運営方針

地域と共に歩む

地域に根付き、地域に信頼される事業所として積極的に地域と交流し、
地域の声・要望に耳を傾けます。

重点項目

質に強化した体制作り

● ICT機器の活用・分析を行い、24h生活シートの充実を図り、質の安定化、個の暮らしを支えます。また、認知症リーダー研修等の資格取得応援を行い、取得者による研修・事例検討会を実施し組織全体のスキルアップを図ります。



福祉に強化した地域作り

● ご利用者、ご家族、地域住民に対し相談場所、拠り所となるべく地域密着型事業所を中心に定期的なカフェを開催します。また、介護技術、認知症ケアなど、現場の体験や知識・経験を施設だけの情報とせず、地域の方へもお伝えし地域福祉の強化を図ります。

働きやすい職場作りのための環境整備

● 細やかな採用情報をデータ化、分析を行い、分析データを基に戦略的な雇用促進につなげていきます。また、職員個々の就業目的を把握し、面談、アセスメントすることによって離職防止につなげるとともに、働きやすい環境整備として、ワーケーション（在宅ワーク）の導入を検討します。





支え合い、理解し合い、高め合い

- 希望者を募集し1カ月単位、最長3カ月で3組(6名)を想定し、グループ内での部署間異動を行い、他事業所・多職種を経験することにより業務理解を進めます。

達成目標

在宅経験者・施設経験者を6名増やすとともに、キャリアアップ・ステップアップにつなげます。

- 法人のラダー教育スキルブックを軸に外国人・未経験者に対応できる教育プログラムを提供します。

達成目標

採用後も安心して働ける環境を整えます。また、職員個々のレベルアップを目指します。

地域公益事業

地域福祉の情報発信 春日丘ベース

- 介護の知識を施設内だけにとどめず、地域住民に対する認知症ケアなどについての介護講座を開催し、介護力の還元を行い福祉に強い街づくりに寄与します。



取組効果

奇数月ごとに講座の開催を行い、地域が必要としているニーズを知り認知症などの理解の推進、相談体制の整備を行い、地域の介護力のアップにつなげます。

- 小中学校との連携を強化し、不登校児童の居場所「あそび丘」のさらなる発展に寄与します。

取組効果

小中学校とのつながりを強化し、学校や家庭以外でも安心した居場所が地域にあることの認知度を高めます。現在のボランティア学生の拡大と同時に、多世代の元気高齢者(元教員等)を探し、学習支援に繋がります。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム春日丘荘 (定員120名)
- 短期入所生活介護 (定員12名)
- 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」(定員29名)
- 短期入所生活介護 (定員11名)
- 春日丘荘デイサービスセンター (定員40名)
- 沢池老人デイサービスセンター (定員45名)
- 南茨木デイサービスセンター (定員45名)

- 春日丘荘ヘルパーステーション
- 春日丘荘グループホームデイサービス (定員3名)
- デイサービスセンター春日丘荘『彩の家』(定員10名)
- 春日丘荘居宅介護支援事業所
- 南茨木居宅介護支援事業所
- 小規模多機能センター春日丘荘『彩の家』(定員27名)
- 春日丘荘グループホーム (定員9名)
- 特別養護老人ホーム春日丘荘診療所

- (茨木市委託事業)
- (沢池・西) 地域包括支援センター
- (玉櫛・櫛櫛) 地域包括支援センター
- (天王・東奈良) 地域包括支援センター
- 茨木市沢池多世代交流センター
- 茨木市南茨木多世代交流センター
- 天王・東奈良
いきいき相談支援ネットセンターCSW

たくさんの
笑顔に
出会いたい

施設別事業計画

3

四條畷荘



運営方針

課題解決力を強化し、一步前へ！

ご利用者…ストレングスを活かし、主体的な暮らしの実現へ！

職員…成功体験を通じて、自律した職員へ！

地域…四條畷荘の機能を活用し、生き生きとした日常へ！

重点項目

生産性向上による働きやすい職場環境作り

- 令和6年度に入所系施設に導入した見守り機器の機能を十分に活用し、ご利用者個々の状態を把握・分析し24時間シートに反映することで、更なる生活の質の向上に取り組みます。



働きやすい環境づくりに向けた取り組みの推進

- 各事業所で、法人のValue（行動指針）を基に、自らのValueを改めて定めるとともに、職員がValueに沿った言動を実践できていることの確認を組織的に行うことによりその浸透を図ります。

職員の働きがい高め、成長を実感できる取り組みの推進

- 年間を通した取り組みについては、意図的に担当者へ権限を委譲するとともに、進め方においてもTry & Errorを繰り返すことを承認することで、物事を主体的に進める醍醐味を体感できる機会を創出します。

外国介護人材の雇用促進のための取り組みの推進

- 入所系施設に配属される特定技能外国人が、人材育成プログラムに沿って計画的に成長できるよう、人材育成委員会を中心に適切にマネジメントを行います。



効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

- 居宅介護支援事業所は、介護システム及びケアプラン連携システム、モバイル機器の積極的な活用等による業務効率化を積極的に推し進めることで、介護支援専門員一人当たりの持ち件数増加につなげます。

地域の認知症高齢者の課題への取り組みの推進

- 地域包括支援センターは、認知症サポーター養成研修修了者を対象としたステップアップ講座を開催することで、社会参画意欲の高い人材の掘り起こしを行うとともに、チームオレンジ等への参画支援を行います。

在宅サービス事業等の強化のための取り組みの推進

- 訪問介護事業所は、終末期におけるより専門的なケアの展開に取り組みます。終末期ケア専門士資格取得者を輩出するとともに、死後の遺品整理等の付加サービスを行うことで、終末期のご利用者が不安なく最期を迎えることができるよう支援します。



認知症への対応力強化

- 特別養護老人ホームでは、認知症介護実践リーダー研修修了者等を中心に、「学習、検討、実践、振り返り」を繰り返すことで、事業所としてのBPSDに対する課題解決力を高めます。
- 通所介護事業所では、脳機能評価アプリによる定点測定を行い、課題に応じ、機能訓練指導員、認知症介護実践者研修修了者を中心に個別の認知機能改善プログラムに基づき実践に取り組みます。



達成目標

- 認知症によるBPSDへの対応力が強化されます。また、実践事例は施設内で共有し、施設の財産とします。
- 認知機能改善プログラムを確立します。脳機能評価における定量数値における改善へつなげます。

地域公益事業

地域における共助的担い手の育成

- 地域住民の生活の中で生じる少しの困りごとを、ボランティアの適切な支援で解決に繋ぐためのコーディネート機能を担います。
- よろかの機能について、より気軽に多世代の方が利用できるよう、私設図書館事業を開始するとともに、まちの福祉相談所機能として地域包括支援センターのランチ機能を高めます。

取組効果

地域の困りごとを地域で解決することができます。
地域に、新たな社会資源を創出することができます。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム四條畷荘（定員120名）
- 短期入所生活介護（定員10名）
- 養護老人ホーム四條畷荘（定員50名）
- 四條畷荘デイサービスセンターほほえみ（定員37名）
- 四條畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」（居宅介護・重度訪問介護事業含む）

- 四條畷荘居宅介護支援事業所「ほほえみ」
- 老人ホーム四條畷荘診療所
- 福祉有償運送サービス
- 四條畷荘いっぶくステーション「よろか」（四條畷市委託事業）
- にし地域包括支援センター



施設別事業計画

4

光明荘



運営方針

オール光明荘で取り組む支援の定着

- 「根拠ある個別ケアの定着」

見守り支援機器による数値化されたデータの活用と標準的なケアを提供します。

- 「地域コミュニティでの活動の定着」

子どもから高齢者まで、年齢や障がいの有無に関わらない包括的な支援とコミュニティの場を作ります。

- 「職員の働きやすさの定着」

ICTや情報共有ツールの浸透による業務効率の実現と生産性向上に取り組みます。
職員の健康づくりに向けたサポート体制を構築します。

重点項目

見守り支援機器データを活用した認知症ケアの実践

- 多職種協働で認知症ケアチームを立ち上げ、見守り支援機器の睡眠データを活用しながらDBD13（認知症行動障害尺度）を指標として認知症ケアへのアプローチを行います。併せて、得られるデータ分析の手法について理解を深めながら、昼夜逆転や意欲低下のある方を中心に睡眠の質を評価し、生活リズムを整え、日中に活動していただけるよう、余暇活動の充実に繋がります。



質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

- デイサービスにおいて機能訓練のみでなく、栄養ケアや口腔ケア等も含め、在宅での日常生活をトータルサポートできるよう、介護予防指導士の取得を順次進めていきます。機能訓練指導員と介護予防指導士の連携のもと、歩行分析アプリ「トルト」を活用し、個別のおすすめ運動を自宅でも習慣化してもらえよう、活動内容の充実を図ります。

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

- 和泉市圏域においてケアプランデータ連携システム及び情報共有ツールの普及に向け、課題抽出と、その課題に沿った事業所連絡会や学習会等を市や他法人に向け開催します。他法人も含めてシステムや情報共有ツールを活性化させることで電話・FAXによる作業時間や通信費を削減します。業務効率が促進することで利用者支援の質向上に繋がります。



在宅・施設の垣根を越えたサービスの追及と人材育成

- 在宅・施設と複数事業を展開している強みを活かし、事業所間の体験研修及び実際に従事していくことで、一体感を醸成し複数の事業所で活動出来る人材の育成に取り組みます。併せて、各事業のサービス内容の理解を深め、事業種別毎の視点でご利用者と関わりを持つことで、光明荘全体で暮らしの継続を意識した支援サービスの提供に繋がります。
- 職員の活動範囲が広がることで、個々のスキルアップとキャリアデザインを支援します。また、事業所間の連携を強くし「オール光明荘」の具現化により、働きやすい職場づくりに取り組みます。

達成目標

人材育成に特化したプロジェクトチームを立ち上げ、育成スキームの構築と運用を行います。
各部署1名以上実施。各事業所の役割や強みを互いに認識し、業務改善やサービスの向上に繋がります。



地域公益事業

子どもの居場所“ヒミツキチふせや”の拠点づくり

- 昨年度から実施している子どもの憩い処としての「ヒミツキチふせや」の継続と浸透を目指し、季節イベントの開催や回数の変更を柔軟に行いながら周知活動に取り組みます。他法人にも取り組みを紹介しながら参画を呼び掛け、不登校などの多様な課題を抱える子どもたちの居場所となる拠点的増加を目指し、子育てのしやすい環境づくりに繋がります。

取組効果

それぞれの地域で子どもの居場所が増えることにより、一人でも多くの子どもたちの成長や学びを支援することができます。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム光明荘（定員120名）
- 短期入所生活介護（定員20名）
- 光明荘デイサービスセンター（定員40名）
- 光明荘ヘルパーステーション

- 光明荘居宅介護支援事業所
- 光明荘訪問看護ステーション
- 特別養護老人ホーム光明荘診療所
- 福祉有償運送

- （和泉市委託事業）
- 光明荘地域包括支援センター
- 光明荘認知症機能強化型地域包括支援センター
- 光明荘いきいきネット相談支援センター

笑顔とまごころを込めて

豊かで潤いのある
生活を

施設別事業計画

5

高槻荘



運営方針

たくさんの方に「豊かで潤いのある生活」を届けたい

- 在宅サービスから施設サービスまで。たくさんの方に笑顔とまごころでサービスを届け、豊かで潤いのある生活を実現します。
- 職員ひとり一人が仕事に誇りと自信を持ち、やりがいを感じることでできる豊かで潤いのある職場を実現します。
- 近隣地域の方々の豊かで潤いのある生活を実現するため、地域福祉の充実に積極的に寄与します。

重点項目

職員の得意を活かした副業制度の活用

- 副業制度を活用し、ブランディング・教育・ケアの質の向上等の分野で活躍の場や機会を設けることで、職員の成長やエンゲージメントの向上、業務の効率化に取り組みます。



訪問事業における外国人介護人材の雇用促進

- 近い将来予定されている外国人介護人材の訪問介護事業での従事を想定し、事業の特性を踏まえた受け入れ体制を整備します。人材不足の解消だけを目的とせず、外国人介護人材のステップアップとしても位置付け、キャリアパスの中で育成し、将来のリーダー候補生の育成を目指します。



専門職の専門性を発揮するためのスマート介護の実践

- 高槻荘グループ全体で介護機器の導入や業務のICT化を推進し、職種を問わず、専門職が専門性を発揮できるスマート介護を実践します。



認知症ケアメソッドの開発と実践

- 認知症ケアチームを中心にBPSDの緩和を目的とした認知症ケアメソッドを開発し、定期サロンを通じて実践・研究することで、認知症ケアの標準化・向上に取り組めます。ご入居者・ご利用者への効果はLIFEデータ等で数値化し、効果測定をするとともに、年度中に内外に向けて発信することを目標に取り組めます。



ステップアップ事業

高槻荘版オンボーディング ～新任職員のサポート体制の充実～

- 全社サポートチームの創設、オリエンテーションの一部をオンデマンド化、経営層との対話機会等により、新任職員の早期戦力化及び組織への定着に取り組めます。また、グループ内の人間関係を広げる意図的な部署間交流プログラムに組み込みます。

達成目標

新任職員の1年以内離職率0%の達成



- 入社時から高めるロイヤリティを合言葉に、理念・方針・組織風土、グループ感の醸成を重点的に中途採用者も含めて学ぶ機会を作ります。

達成目標

職員満足度調査における新任職員のロイヤリティ(帰属意識) 平均3以上
※ロイヤリティ(帰属意識) 4点満点

地域公益事業

いっぷくステーション 「よるか」高槻店の運営



”敷居の低い相談場所”をテーマに通いの場を設け、児童から高齢、障がいまで、地域福祉推進委員会が中心となり、他法人・他機関と協働し、地域課題の解決の拠点となるべく、取り組みます。

取組効果

地域課題を重層的に解決できる拠点として機能することで、地域福祉の発展につなげます。

施設別事業計画

実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム高槻荘 (定員100名)
- 短期入所生活介護 (定員10名)
- 特別養護老人ホーム高槻荘診療所
- グループホーム高槻荘「ゆらら」 (定員18名)
- 小規模多機能センター高槻荘「ゆらら」 (定員29名)
- 高槻荘共用型デイサービスセンター「ゆらら」 (定員6名)

- 高槻荘居宅介護支援事業所
- 郡家・高槻荘ホームヘルプステーション (居宅介護・重度訪問介護含む)
- 高槻荘郡家デイサービスセンター (定員40名)
- 高槻荘やすらぎデイサービスセンター (定員12名)

- 高槻荘ケアプランセンター桃園
- 高槻荘ホームヘルプステーション桃園
- 高槻荘訪問看護ステーション桃園 (居宅介護・重度訪問介護含む)
- (高槻市委託事業)
- 郡家地域包括支援センター
- 配食サービス事業
- 子育て世帯訪問支援事業

よりそう想いを
大切にたくさんの
笑顔 を護る！

白島荘



運営方針

想像して創造する！白島荘から地域の可能性を高める！

「DX化を推進し、誰もがいきいきと暮らせる地域社会の実現」、新規事業においてもDX化を推進し、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。特に、困難な状況にある方々に対し、切れ目のない支援を提供することで、その人らしい生活を送れるようサポートしていきます。また、白島荘グループとしてご利用者の生きがいの創出や、多文化共生の実現を目指し、職員の成長とモチベーション向上を図り、更なる質の高みを目指します。また包括、居宅、相談事業における総合相談の実現と新規事業の運営が円滑に進むよう連携強化を図ります。

重点項目

どんな方でも断らないを大切に・・・

新規事業、包括、居宅、相談支援による総合相談

- 他法人での受け入れが困難な方や、強度行動障害があるご利用者の受け入れを積極的に行い、自宅でも活用しやすいツールを提案し24時間トータルでのサポートを目指します。
- 箕面市における困難事例共有会の実施に向けた提案として、支援力の底上げ、他事業所との連携強化、ノウハウの共有と相談支援事業所との連携強化により、より切れ目のない支援体制を構築します。



障害事業においてPT、OT、STの専門職を活かした「選択」の提供

- 新規事業、箕面市立障害者自立支援センターいろはもみじ萱野を開始し、専門職による困難なニーズに対して挑戦する環境を目指し、ICT機器の活用により、福祉×テクノロジーの融合によるご利用者の「選択」を尊重した意思決定支援を目指します。
- 一連の流れを記録として残し、蓄積したノウハウのデータ化を行い、法人内の合同会議で事例提供するとともに、困難事例の受け入れを法人全体で推進していきます。

質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

- GHにおいて、人生の最期や遠くない将来の変化に備え、医療及びケアについてご利用者、ご家族を含めたACP（人生会議）を実施し、価値観や希望に沿ったケアを具体化します。



ヘルパー事業所においてスキマ時間の活用で人材確保と定着を促進

- 人員不足の解消に向け、幅広い人材確保と定着のため、スキマ時間の活用を謳い、仕事や学び（研修）等、やりがいや働きやすさを含めた魅力をSNSを通して発信します。

職員の働きがいを高め、成長を実感できる取り組みの推進

- 外国人も含む職場内インターンシップで職員が定期的に職種間・他事業間で様々な体験をし、学べる機会を提供します。また、得た経験や成果を他の職員と共有するため、発表会を開催します。



ステップアップ事業

夢を形にするプロジェクト

- あなたの夢叶えますプロジェクト！
ご本人やご家族に、昔あった夢や今ある願いを大募集！素敵な夢を形にできるよう、職員が実現のため全力でお手伝いをします。

達成目標

ユニットリーダーを中心にプロジェクトチームを発足し、夢の実現に向けて計画し、実行します。ご入居者の生きがい支援だけではなく、職員の「うれしい」「楽しい」を高め、働きがいを高めます。



- 特養内に地域社会をつくる！
地域住民やボランティアの協力を得て特養に公民館のような地域活動の場を提供し、レクリエーションや機能訓練など、様々な活動への参加を選択できる包括的なケアを提供します。

達成目標

ユニットケアの一步先を目指し、アクティブライフを届けます。



地域公益事業

食支援を起点に地域課題解決へ向け、2歩踏み込む

- 食支援から見えた複雑化する課題のある家庭に対し、他機関とのネットワークの構築を図りながら、新たな居場所として「交流・参加・学び・働く」の機会を地域に創出します。

取組効果

多機関連携が深まり家庭への支援ネットワークが強化され、社会的孤立者を減らします。

施設別事業計画

実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム白島荘（定員90名）
- 短期入所生活介護（定員10名）
- 白島荘グループホーム「華の家」（定員9名）
- 白島荘グループホーム「華の家」デイサービス（定員3名）
- 福祉有償運送（移動支援）
- 白島荘小規模多機能型居宅介護事業所「ひねもす」（定員27名）

- 白島荘訪問介護事業所「はくしまヘルパー」（居宅介護・重度訪問介護）
- 白島荘居宅介護支援事業所「はくしま」
- 白島荘診療所

（箕面市委託事業）

- 箕面市立光明の郷ケアセンター（定員31名）
- 箕面市東部地域包括支援センター
- 白島荘生活介護事業所「フレンドカラー」（定員20名）
- 光明の郷相談支援センター「はくしま」
- 箕面市立光明の郷ケアセンター地域活動支援センター（定員10名）
- 箕面市立障害者自立支援センターいろはもみじ萱野（定員60名）



東大阪養護老人ホーム

運営方針

入居者が地域福祉の担い手となる関係の創造

地域のニーズに応え、入居者が地域福祉を支える役割を担い、地域から必要とされ、自己実現の喜びを感じる生活を創ります。

重点項目

ICT機器の導入と業務効率化

- 業務効率化アプリの活用を促進し業務の簡素化や負担軽減を図り、業務の効率化を進めていきます。また、インカムやタブレットを中心にICT機器を積極的に活用し、スムーズな情報共有を行い、職員のコミュニケーションを円滑にします。



地域における公益的な取り組みのより一層の推進

- 市営宝持西住宅移転に伴い、市営住宅の集会所を活用して、現在実施している「鍵預かり事業」や地域住民向けの「認知症サポーター養成講座」や各種研修を住民のニーズに沿って幅広く展開していきます。

適切な認知症ケアによる快適な暮らしの形成

- 介護福祉士取得率が高い当施設において、認知症ケアを充実させるために認知症介護実践者及び認知症介護実践リーダー研修修了者を更に増やし、OJTを含めた研修等を行うことで、職員個々の認知症ケアに関する理解を深め、より適切なケアを実践し、ご入居者の快適な暮らしを支えます。



養護老人ホーム入居者の重度化対応への取り組み

- 他法人の見学等で得られた情報をもとに、医療・介護の連携強化、入浴設備の設置の検討等を進めます。

ステップアップ事業

地域ボランティアの拠点

● 東大阪市のボランティア体験受け入れ施設に登録し、施設内外で開催される行事などへの参加を通じて、入居者のボランティア活動と地域住民のボランティアとの協力関係づくりを目指します。

達成目標

入居者ボランティアと地域住民ボランティアと協同でボランティア活動を行います。



地域公益事業

福祉施設としての防災拠点

地震や火災や風水害等の災害時に、速やかに対応出来るよう、地域住民等と共同訓練を行い連携を図るとともに、福祉サービスを提供する福祉避難所としての機能や高齢者への対応方法など、研修等を通じて地域住民の方々に理解いただきます。

取組効果

地域課題を重層的に解決できる拠点として機能することで、地域福祉の発展につなげます。



実施事業一覧

- 東大阪養護老人ホーム（定員150名）
- デイサービスセンター「ふれあい」（定員18名）
- ケアプランセンター「ふれあい」
- ヘルパーステーション「ふれあい」（居宅介護・重度訪問介護事業含む）

- 東大阪養護老人ホーム診療所（東大阪市委託事業）
- 地域包括支援センター上小阪

その人らしく、
ここで…

永寿園とよなか



運営方針

「地域のすごし場」として「地域で使い合う」場所になる

「地域に開く」のではなく、元々地域の社会資源であることを認識し、「地域で使い合う」場所となる仕組みづくりをします。

重点項目

質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

- ご入居者個々の「夢」を現場の介護職員がアセスメントし、なにわ和楽日の会との連携等による外出支援など「夢の実現」に向けた支援プランを作成し、「夢の実現」に寄り添います。



地域の認知症高齢者の課題への取り組み

- 小学校・中学校・高校などへ職員を派遣し認知症サポーター養成講座の出前授業を実施して認知症の理解と地域の社会資源としての認識を促進する機会を創出します。

職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

- 「オーダーメイド講座」受講等、現場職員の学びたい気持ちに寄り添う研修を取り入れて専門性を高め、多様な背景を持つ子どもたちの受け入れも視野に入れ、スキルアップを図ります。



地域の課題解決力を高めるための取り組み

- 非常災害時の対策として地域との連携強化を図り、災害時に助け合う体制を構築します。

生産性向上とACPの充実を両輪とした重度化対応の実践

- 養護でもムリなく看取りや認知症対応など介護の重度化に対応するため、家族関係や持病の状況、価値観や希望に沿ってACPの充実を図り、ICT機器を活用し実践可能な環境を構築します。

達成目標

看取りマニュアルに沿った養護での看取りを実践します。
看取りの負担軽減となるICT機器（眠りスキャン・見守りカメラ等）を導入します。

- 社内の業務を洗い出し、整理して見える化を行い、ICTの活用や外国人介護職員への業務分担に繋げ、マニュアル化するとともに、これを定期的にアップデートする方法を確立し、全体の生産性向上を図ります。

達成目標

業務改善マニュアルの作成と運用方法の確立を行います。
介護業務と間接業務を切り分け、業務効率化を実現します。

地域公益事業

地域のすごし場「りんくてらすMOE」

- 「りんくてらすMOE」として、保育の園庭解放、入所者運営のMOEかふえ、移動販売等広く誰でも利用可能で相談支援につなぐ事も出来る居場所として毎週開催を目指します。

取組効果

多世代住民の相談支援活動と入所者自立支援活動を実施し地域との交流を深めます。



実施事業一覧

- 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか（定員70名）
- 企業主導型保育えいじゅ・とよなか保育園（定員12名）
- 地域密着型特別養護老人ホーム永寿園とよなか（定員29名）
- 永寿園とよなか診療所
- 短期入所生活介護（定員11名）



豊寿荘



運営方針

追求と育成。地域共生社会に向けて

- 利用者支援の専門性を追求し、より細かなニーズへの対応力を向上させます。
留学生や未経験者等、多様な入職者が安心して成長できる、育成力を向上させます。
- あらゆる人が参加し、支え、支えられる地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進します。

重点項目

質の高いサービス提供を実現するための取り組み

- 特別養護老人ホームにおいて、認知症介護及びユニットケアに関する実践的な知識や技術の向上を図ります。認知症介護実践者研修及びユニットリーダー研修、喀痰吸引等研修を受講し有資格者を増員し専門的かつ医療ニーズへの対応力強化に取り組みます。



在宅認知症ケアの質をワンランク上位に

- 通所介護事業所において、認知症介護の専門的な研修を修了した職員を1名以上配置します。それにより、より専門性の高い在宅認知症ケアを実践できる体制を構築します。

事業所間の理解と介護力の底上げ

- 豊寿荘グループ全事業を対象としてのキャリアデザインの構築を目的とした独自のインターンシップ(数日～1ヶ月程度)を実施します。



地域の課題解決を高めるための取り組みの推進

- 予防センターでは、筋力アップ等のプログラム作りの為に、新しいグループ活動「ワークショップ」を各センター毎に立ち上げます。参加者が、主体的・能動的にかかわることで、やる気・やりがい・達成感を引き出し、これ以外の時間帯も活動量を上げます。

職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

- プロセスレコードおよびユマニチュードの技法を用いて、利用者支援に必要なコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上と職員個々のスキルアップを図ります。職員が自信を持ってサービス提供ができるよう、認知症ケアの強化に取り組みます。また、保育では、これまで以上に『選ばれる保育園』となるよう、質の向上のために育児担当制および下半期には一時預かり事業を導入し、目標年間定員充足率100%とします。

多様な入職者に対応できる育成プログラムの確立

- 令和6年度に策定した留学生対象の育成プログラムをブラッシュアップします。外国人介護人材の訪問事業への従事も視野に資格取得のフォローも含め検討します。

達成目標

未経験者、特定技能、経験者それぞれの育成プログラムを作成します。



地域公益事業

こどもランチを地域共生社会のモデルに

子どもランチをきっかけとして、認知症の方が活躍できる場とします。地域共生社会を子ども食堂内で実現します。

また、切れ目のない子どもへの支援を、近隣の学校、関係機関と共同して検討します。

取組効果

子ども食堂に多様性をもたせ、地域共生の促進を担います。学校や、既存の支援機関でカバーできない課題の掘り起こしとそれに対する支援を実施します。

実施事業一覧

- | | | |
|---|------------------------------|----------------------------|
| ■ 軽費老人ホーム（ケアハウス）豊寿荘（定員100名） | ■ 豊寿荘デイサービスセンター「ゆたか」（定員40名） | （豊中市委託事業） |
| ■ 特別養護老人ホーム豊寿荘（定員50名） | ■ 原田デイサービスセンター「ねいろ」（定員45名） | ■ 原田介護予防センター（とよなか健康大学 原田校） |
| ■ 短期入所生活介護（定員10名） | ■ 服部デイサービスセンター「かなで」（定員45名） | ■ 服部介護予防センター（とよなか健康大学 服部校） |
| ■ 豊寿荘居宅介護支援事業所「ゆたか」 | ■ 高川デイサービスセンター「ひだまり」（定員45名） | ■ 千里介護予防センター（とよなか健康大学 千里校） |
| ■ 豊寿荘居宅介護支援事業所「ひがしまち」 | ■ 原田通所型デイサービスセンター「ゆい」（定員10名） | ■ 柴原介護予防センター（とよなか健康大学 柴原校） |
| ■ 豊寿荘居宅介護支援事業所「ねいろ」 | ■ 診療所「ゆたか」・訪問リハビリテーション | ■ 庄内介護予防センター（とよなか健康大学 庄内校） |
| ■ 豊寿荘居宅介護支援事業所「ひだまり」 | ■ はらだ保育園「ねいろ」（定員19名） | ■ 高川介護予防センター（とよなか健康大学 高川校） |
| ■ 豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」
（居宅介護・重度訪問介護・移動支援含む） | ■ 豊寿荘地域公益事業「あいあい」 | ■ 豊中市原田シルバーハウジング生活援助員派遣事業 |
| ■ 豊寿荘訪問介護事業所「ひがしまち」
（居宅介護・重度訪問介護・移動支援含む） | ■ 福祉有償運送、豊中市高齢者外出支援「ほのほの号」 | ■ 豊中市服部シルバーハウジング生活援助員派遣事業 |
| | | ■ 子育て世帯訪問支援事業 |

すべての人
～ご入居者、職員～に
ワクワクする毎日を！

万寿荘



運営方針

やりたいことを叶えたい！！

昨年度から開始した座談会を更に発展させ、出たアイデアをご入居者主体で起案から実行まで行っていただきます。職員はご入居者へ運動の機会を提供し、「ご入居者主体の万寿荘」を確立します。



重点項目

万寿荘における大規模改修 (暮らしの充実)

- 計画していた大規模改修工事の設計を完了させ、令和7年度中に工事を着工します。この先も、快適に暮らして頂けるよう、仕組みの見直しに取り組みます。

サービスの質の向上

- 今年度より取り組んでいる、虐待の芽チェックリスト（万寿荘版）を活用し、虐待の未然防止・早期発見・早期対応に取り組めます。それと同時に、何でも相談しあえる風通しの良い職場環境を整え、サービスの質の向上を目指します。

訪問介護における 障がい事業への挑戦

- 訪問介護事業を発展させ、更なる地域のニーズに応えるため、重度訪問介護従業者養成研修課程修了者を増やし、スキルアップを図り、居宅介護事業・重度訪問介護事業を開始します。

食事サービスの充実

- 軽費老人ホームの給食のあり方を検討し、令和7年4月より厨房運営を委託から直営とし、既成のクックチルの食事を購入・提供することで、毎食、安定して美味しい味付けと、効率的に安定した食事提供を行います。おいしさは変わらずご入居者には「食べられるよろこび」を感じていただけるよう提供します。

効率性の高い業務体制の構築

- ご入居者の外出時における記録について、手書きからQRコードを利用したデータ管理に変更することで、職員の業務の効率化とご入居者の外出目的を把握し、安否をすぐに確認できる体制とすることで安心して安全な生活を提供します。



進・アクティブシニア健康体操（楽しく転倒予防）

- 同じご入居者の転倒が多い傾向があり、少しでも長く万寿荘での生活を継続できるよう体操教室及びヨガ教室を通して筋力アップと体幹強化を目指します。測定は独自のデータ管理システムを用いて管理します。

達成目標

測定値のデータを分析し、個別援助計画の内容を充実させ、個別訓練の促進を図り、ご入居者の転倒リスクを軽減します。



- アクティブシニア健康体操をご入居者のやりたいに應えるために週2回開催とし、2組に分けて転倒を繰り返しているご入居者や希望者に実施していきます。

達成目標

介護予防運動指導員の資格取得を推進し、ヨガ経験者の職員も増やし、2名体制を整えることで、安定した質の高いアクティブシニア健康体操教室の開催を行います。



地域公益事業

地域の課題である子どもの居場所づくり

社会福祉協議会や大阪大学との協力体制をさらに深化させ、経済的困窮者や不登校児を背景とした教育や体験の機会喪失など、支援が必要な子どもへの適切な支援を確立します。

取組効果

1年間の実績により、地域公益事業として池田市に注目されており、池田市スクールソーシャルワーカー会議に参加し、現状の把握に努め、また池田市こども未来課と密に連携を図り、経済的困窮者や不登校児の利用の増につなげます。

取組効果

近隣の学習塾や阪大サークルや社会福祉協議会だけでなく、近隣の高校と協力体制を取ることで、ボランティア講師を増やしボランティアの方々を中心に運営することで、地域に根付いた事業展開を行います。



施設別事業計画

実施事業一覧

■ 軽費老人ホーム万寿荘（定員50名）

■ 訪問介護事業所

（居宅介護・重度訪問介護）

■ 池田市生活支援体制整備事業

いつまでも
自分らしく
いきいきと

河南荘



運営方針

地域のセーフティネットの役割を果たす

河南荘を必要な方に利用して頂くため、各種関係機関に軽費老人ホームA型の役割を伝え、社会的支援の必要な方を積極的に受け入れます。

重点項目

職員一人ひとりの力を 高めるための取り組みの推進

- MCI（軽度認知障害）や認知症に対する介護力を向上する為に認知症介護実践者研修を毎年1名受講します。



地域の課題解決力を 高めるための取り組みの推進

- 介護出前講座を地域・地区で開催し住民共助の支援を担います。



実施事業一覧

- 軽費老人ホーム河南荘（定員90名）
- 訪問型サービスD事業
- 通所型サービスB事業
- 福祉有償運送

ステップアップ事業

心豊かな暮らしの実現に 繋がる生きがい作り

- 東大阪市のボランティア体験受け入れ施設に登録し、施設内外で開催される行事などへの参加を通じて、入居者のボランティア活動と地域住民のボランティアとの協同の関係づくりを目指します。

達成目標

入居者ボランティアと地域住民ボランティアと協同でボランティア活動を行います。



地域公益事業

地域拠点「河南荘」の確立

地域課題である活動拠点の確保に寄与するため、交流の場やコミュニティ作り、健康推進等の取り組みを行う活動拠点の役割を担います。

取組効果

移動スーパーや体験型催事を招致し地域の方々の集いの場とし地域コミュニティづくりに繋がります。また、住み慣れた地域での生活の継続のため健康づくり・健康講座を開催し健康推進に寄与します。

Mission —法人の使命—

私たちはつながるすべての人の夢を応援し、
すべての人の幸せを支え続けます。

創立 50 年を迎えた私たち
社会福祉法人大阪府社会福祉事業団は、
これまで、いま、そして、これからも、
つながるすべての職員と
すべての地域の方々の 夢を応援し、
幸せを支え続ける ことを使命に存在していきます。



OSJ Vision 2031

可能性を高め、地域とともに躍動する法人へ

「可能性」には潜在的な発展性という
意味が含まれています。

私たち大阪府社会福祉事業団は、
職員の持つ可能性を高め、法人の持つ可能性を高め、
そして地域の持つ可能性を高めていくために、
これからもたゆまぬ取り組みを続け、
地域共生社会の実現のため地域とともに
躍動できる社会福祉法人を目指します。

Value(行動指針)

「よりそう想い つながる心」

私たちは、法人の使命を実現するため
「よりそう想い つながる心」の精神のもとで、
すべての方とのつながりを大切に、
活力のある地域共生社会の実現に寄与します。

ここにしかない
ここだからこそ
出来る

OSJ 工房よりそいの丘

運営方針

地域の中で求められる社会資源としての役割

自然や土地を有効活用し多世代が交流出来る特別な場所と捉え、定期イベントの開催や敷地開放を積極的に行い、地域連携の活動拠点となる役割を担います。

重点項目

教育体制の強化及び支援業務の構造化

- 個別支援手順書を作成し根拠あるサービスの統一化を行います。また、職員の学ぶ機会を積極的に提供し、全職員がスキル習得できる環境を整備します。



就労継続支援B型の年間平均工賃30,000円の達成

- 法人内施設からの業務受託を強化し、加湿器清掃等業務の拡充による増収を目指します。また、パン販売の軸を近隣エリアに見直し、新規拡大を行います。

生活支援プログラムによるスキル獲得訓練の実施

- 集団での調理体験や外出活動を通し、日常生活に必要な行動訓練やコミュニケーション能力の向上を図り、生活の中で充実感を高められるよう支援をします。



OSJ工房よりそいの丘の更なる発展への取り組み

- 現在使用していない陶芸室の有効活用及び居住棟の在り方も含めた今後の計画について法人と協議しながら、さらに発展できる事業展開を検討します。

ICT・DX化の推進によるサービスの見える化

- 児童発達支援・放課後等デイサービスにて、利用時の様子（写真等）がわかる連絡帳ソフトを導入します。利用時の様子については家族からの希望も高く、営業ツールとしても活用します。

医療従事者等の配置による医療的ケア児・者への取り組み

- 障がい児・者や高齢者に対してより専門的な支援体制の構築を目指し、言語聴覚士や看護職員等専門職の配置により支援の充実を図り、幅広いニーズに応えます。

達成目標

言語聴覚士による言語機能向上への取り組みを実施しご本人の意思決定ができる取り組みを実践します。



- 児童分野におけるより個別性の高い療育プログラムのもと、五感を育む環境において児童指導員を中心に個別性のある支援を提供します。

達成目標

ご利用者の主体的な意見のもと、明確な目標設定による個別性の高い支援計画書の作成と実施。



地域公益事業

地域と福祉を繋ぐ橋渡し役としての責務を担う

- 地域ニーズである買い物が難しい方への対応として、移動販売車を敷地内に呼び、そのニーズに応えます。また、同時に相談会を開催し課題等を把握します。

取組効果

相談内容や地域の課題、要望に対して、必要な機関等へつなぎ、よりそいが地域福祉の拠点となります。

実施事業一覧

- 生活介護（定員20名）
- 就労継続支援B型（定員20名）
- 児童発達支援
- 放課後等デイサービス

（定員10名）

- 特定相談支援
- 障がい児相談支援

（東大阪市委託事業）

- 委託相談支援事業

この街で「暮らす」
「働く」を
応援します

みずほおおぞら



運営方針

障がい者・高齢者が生き活きと暮らす街作り

障がい・認知症のあるなしに関わらず、誰もが自分たちの想いや自己選択が出来る支援を行い、慣れ親しんだ豊中で自分らしく生きる事ができる街作りに貢献します。

重点項目

屋上の整備

- 屋上に緑や家具等を設置し、ご利用者、職員、地域の方も利用できる憩いの場を作ります。障がいのあるなしに関わらず、様々な人たちが集まり、「みずほおおぞらに行こう」と思っていただけの施設を目指します。

ひまわりのサービス向上について

- 入浴介助サービスの待機者解消、回数増、快適な入浴サービスの提供をみずほグループで協力して実施します。また、ニーズの高いひまわり喫茶の開店の頻度を増やし、サービス向上を行います。

オオゾラヤ喫茶の充実

- 週2回実施している喫茶の充実を図ります。メニュー・内容等の見直しを行い、地域の方が通いたくなる喫茶を目指します。

認知症ケアの更なる充実

- 現場職員・管理職、職員全員で認知症ケアについての簡単事例集を作成します。事例集から支援に対する学びを深め、質の高い支援を目指します。

災害非常食パンの取り組み

- 令和6年度中に検討した製造販売スケジュールに基づき、ネット販売、地域営業販売の下地を作り、速やかに事業を開始します。

効率性の高い業務体制とDX化の推進

- 会議録のAI化・シフト作成の自動化や現在より効率の良い介護ソフトを検討します。業務の効率化を行うことで時間を確保し、利用者支援の質の向上に繋がります。

入浴サービスの充実

- 入浴することで洗身効果がある、ピュアつとを導入し、ご利用者の洗身や入浴にかかる負担の軽減や、職員の介護負担軽減に繋がっていきます。

科学的介護の更なる推進

- aamsの導入により、ご利用者の状態・ご様子についてのデータ収集及び分析を行います。数値化されたデータを根拠に、より一層本人のニーズを満たすことのできるケアプラン作成を行います。

地域生活支援拠点としての更なる取り組み

- 豊中市から、「拠点コーディネーター」を受託し、地域生活支援拠点としての役割について更なる推進を行います。

利用者の可能性を高めるための取り組みの推進

- 視線入力、スイッチ入力、音声認識等、スマートフォンを活用し、重度の身体障害への意思決定支援を行い、利用者の自立を支援します。



ステップアップ事業

外出、移動支援等を通じた生活の質の向上

- ヘルパー事業所の開設を検討し、移動支援を行うことで施設の外でも、なじみの職員と一緒に安心して出かける事ができる環境を整えます。

達成目標

検討会を発足し、移動支援から事業を開始することで、ニーズや社会的な役割等含めて今後の事業展開を検討します。



地域公益事業

地域における公益的な取り組みのより一層の推進

- 箕輪小学校・福祉委員・法人傘下のボランティア等と協力し、地域ニーズの高い朝ごはん食堂を2週間に1回から必要なニーズに応じて頻度を増やすことで、学校に来るきっかけづくりを支援します。

取組効果

ひきこもりや学校に来るのが遅い子どもたちが学校に通いやすい環境づくりに寄与します。



施設別事業計画

実施事業一覧

- | | |
|------------------------------------|---|
| ■ 障がい者支援施設みずほおおぞら（施設入所）（定員21名） | ■ 特別養護老人ホームみずほおおぞら（地域密着型特養）（定員29名） |
| ■ 障がい者支援施設みずほおおぞら（生活介護）（定員40名） | ■ 特別養護老人ホームみずほおおぞら（短期入所生活介護・介護予防短期入所）（定員11名） |
| ■ 障がい者支援施設みずほおおぞら（就労継続支援B型）（定員25名） | |
| ■ みずほおおぞら短期入所事業所（定員10名） | ■ みずほおおぞら相談支援事業所びすと
（指定相談支援・一般相談支援・障がい児相談支援） |
| ■ みずほおおぞら日中一時支援事業所（定員10名） | （豊中市委託事業） |
| ■ みずほおおぞら就労継続支援A型事業所（定員10名） | ■ 豊中市障害福祉センターひまわり施設運営管理 |
| ■ みずほおおぞら生活介護事業所みのり（定員40名） | ■ 柴原障害者相談支援センター |
| ■ みずほおおぞら診療所 | ■ 地域生活支援拠点（多機能型） |

かがやき



運営方針

在宅復帰支援を充実させ、かがやきリピーターを増やします

ご利用者の在宅復帰支援として、各事業においてリハビリ機能の強化を多職種で行います。ICT・DX化の推進を行い生産性向上を図ることでサービスの質の向上を行います。

重点項目

在宅サービス事業等の強化のための取り組みの推進

- 居宅事業所の業務効率向上と情報共有の円滑化を目的にDX化を推進し大規模化を目指します。
訪問リハビリにおいてもAI歩行分析ツールを活用し、リハビリ効果の見える化を行い既存事業の拡大につなげます。
通所リハビリにおいて重介護者へのリハビリとして、在宅生活が長く継続できるように個別でのプログラムを実施します。



質の高いサービスの提供を実現するための取り組みの推進

- 歯科衛生士と連携した口腔ケア、ミールラウンドの強化により、誤嚥性肺炎を防ぎ入院者を減らします。かがやきリピーターのご利用者が在宅復帰、入所、ショート利用等切れ目のない支援の中で、多職種での看取りケアを充実させます。



職員の働きがいを高め、成長を実感できる取り組みの推進

- 新たな介護ソフトの導入によりICT・DX化の推進を行い生産性向上による職員の働きがいを高めます。
職員間のコミュニケーション活性化を図る機会を増やし、職種間の業務や役割の理解を深め職員の働きがいを高めます。
地域行事に積極的に職員が参加できる体制づくりを行い、地域交流を通じて働きがいを高めます。



外国人介護人材の雇用促進のための取り組みの推進

- 外国人介護人材受け入れの指導の標準化を図り、現在入職している外国人職員については、今後の外国人職員に対してリーダーの役割を担ってもらうための育成に取り組みます。

超強化型老健におけるリハビリ機能の強化

- 老健入所・ショートステイサービスにおいて、個別リハビリだけではなく、筋力強化運動プログラムの定着と拡充を図り、日常における運動プログラムの充実を図ります。

達成目標

全フロアでのサーキットトレーニングの展開と、リハビリの専門的な視点を通してのご利用者のプロセスの見える化と課題の分析が行える体制を整えます。



- 集団体操のさらなる充実と、多職種連携のもと認知症個別プログラムの提供を行います。

達成目標

介護職員が実施する集団体操の更なる充実と、生活の中で実施できる認知症予防プログラムを多職種にて検討、提供していきます。



地域公益事業



要支援者に向けた外出支援と新たな運動支援の展開

- 令和3年度より開始したかがやき号のさらなる利用拡充を図ります。利用対象範囲拡大や運行に向けた情報収集、検討を行い送迎範囲の拡大とニーズの高い地域への増便を行います。自治会などの継続的な活動支援に向けて要望をくみ上げ、専門職を出張講師として派遣します。

取組効果

ニーズの高い地域への買い物送迎の利用拡大を図ることや、地域への専門職の活動を通じて地域で頼れる存在になることを目指します。

実施事業一覧

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ■ 介護老人保健施設かがやき(定員100名) | ■ 訪問リハビリテーションかがやき |
| ■ 短期入所療養介護 | (豊中市委託事業) |
| ■ 通所リハビリテーションかがやき(定員 47名) | ■ 柴原地域包括支援センター |
| ■ 居宅介護支援事業所かがやき | |

自らが育てて
いく人材確保
を目指して

OSJ 人材育成センター

運営方針

システム活用による奨学金等の手続きの効率化

日本語アカデミー及びケアスクールにおける学生受入増加に伴い煩雑化する在留管理・奨学金等の管理業務につきシステム導入等にて事務作業の軽減を検討します。

重点項目

地域からの雇用を重視した人材確保のための取組の推進

- 地域の全日、定時制、通信制高校への福祉教育への出張授業を行い、介護の仕事を感じていただくとともに、介護の仕事の魅力を伝え、福祉人材の創出の一翼を担います。

ステップアップ事業

認定日本語教育機関の申請に向けた取り組み

- 認定日本語教育機関の申請手続きを行います。

達成目標

令和7年度中に申請を行い令和8年度認定を目指します。



実施事業一覧

- OSJとよなかケアスクール（専修学校）
- OSJ日本語アカデミーとよなか

地域公益事業

学生主体の認知症カフェ等の 交流行事開催により関係性を深化する

地域課題の把握に向けて学生主体の認知症カフェを開催するほか、学校と地域を結ぶ交流事業を企画実施し、地域に向けて開かれた学校をアピールし関係性を深めていきます。

取組効果

多世代と交流するなかで介護教育現場に直接触れてもらうことにより、将来の入学生との関わりを持てます。



事務局

運営方針

第二期中長期経営計画（後期計画）に向けての準備

令和9年度から始まる第二期中長期経営計画（後期計画）に向けて、今後の社会情勢や2040年問題に対する人材確保等さまざまな分野におけるニーズや今後の社会福祉法人としての課題分析を行い、計画策定に向けての準備を進めていきます。

重点項目



「地域からの雇用」を重視した人材確保のための取り組みの推進

- インターンシップや実習、施設でのアルバイトやボランティア活動等に参加した学生に対して、早期に採用内定を出す仕組みを作り、運用します。
- 見学、実習、インターンシップ等の受け入れについて「実習等受入れマニュアル」に基づく対応が各施設で標準的に行える体制を整備します。また、大阪府外での採用活動についても活発に行い新たな雇用につなげます。

障害者雇用のさらなる推進

- 障害者雇用について、2026年度の法定雇用率の見直しを見据えて施設単独での法定雇用率を2025年度中に達成できる取り組みを進めます。



効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

- 生産性向上委員会を立ち上げ、業務時間と業務タスクを“見える化”します。働き方を可視化することで各グループ内で業務の効率化や具体的な業務改善の手法等を提案し“ボトムアップ”で働き方が改善できる取り組みにつなげます。

働きやすい環境づくりに向けた取り組みの推進

- 社会保険や入退職、育産休、休職等の手続き、住民税の通知等を電子化し、事務処理の効率化及びペーパーレス化を推進します。
- 求職者にとって魅力的で既存の職員が働き続けたいと思える持続発展可能な人事・給与制度となるよう令和6年度の検討内容を踏まえて見直しを行います。
- 働きやすい職場環境づくりの取り組みとして、男性の育児休暇・休業、リフレッシュ休暇、不妊治療休暇等の新たな休暇制度について検討を進めます。



効率性の高い業務体制の構築と DX 化の推進

- 電子契約システムの本格稼働における評価をもとに、各種帳票の電子化に向けたシステムの選定・導入について検討を進めます。
- 契約業務の専門性を高めて一元管理することで、より公正で有益な取引をon schedule（オン・スケジュール）で成立させ、業務効率化を図ります。



災害リスクに対応できる体制の構築

- 今後発生が予測される南海トラフ地震等の災害に備え、南北に法人備蓄倉庫を設置、長期間の災害にも対応できるように整備するとともに、職員の安否確認や参集等、迅速に対応するため災害アプリを導入します。また、リスクに対する対応の評価が行える体制としてリスクマネージャーの機能を高めます。

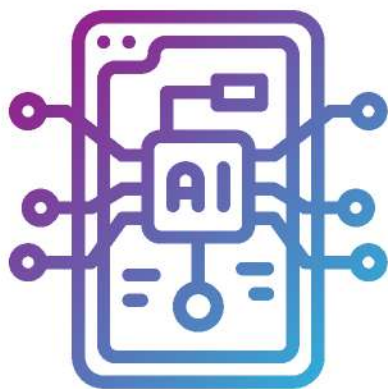
ICT・DX化の推進及び数値の見える化

- ICT・DX化の推進を行うとともに導入機器による数値の見える化を行い、科学的根拠に基づく質の高いサービスを行います。また現在使用しているシステムにおいて、その効果を分析し必要に応じてさらなる効果、利便性、AI等が活用できる機器に変更し業務効率化を図ります。



生成AIを活用した業務効率化の推進

- 契約書の確認や事務作業等について生成AI(Gemini等)を活用した提案や確認を行うとともに、各施設、各職員が普段業務で使えるプロンプト(AIへの指示文)を作成します。



在宅サービス事業等の強化のための取り組みの推進

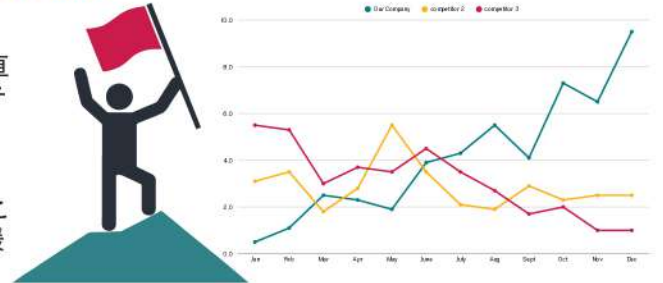
- LIFEフィードバック内容の活用を行うとともに、日々の記録や各種情報を分析し法人独自の個別フィードバックが行える環境を整え、その情報を基にPDCAサイクルを行いケアプランの個別性をさらに強化します。



重点項目

職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

- 専門職に特化した研修の実施と、専門職会議の在り方の見直しを行い、役割を発揮できる体制を作り、ラダー教育システムの職階・職域の拡大を図ります。
- 自己学習が行える環境を整え、成果、課題が見える化することで、施設とOSJ研修・研究センターが協働し継続した支援の実施を行います。
- 入職者のキャリアデザインをサポートするための教育プログラムを作成し運用します。



質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

- 介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修のカリキュラムの見直しを行い、受講者の獲得を目指し、就職につながる魅力ある研修を実施します。

外国介護人材の雇用促進のための取り組みの推進

- 東南アジアの新たな送り出しルートを開拓することで、安定した人材を確保するとともに、定着に向けた教育プログラムを確立します。



地域の認知症高齢者の課題への取り組みの推進

- 幅広い住民に認知症サポーター講座の実施、住み慣れた生活を継続するため、地域と共に支え合える環境を作ります。

実施事業一覧

(大阪府指定)

- 相談支援従事者研修
- サービス管理責任者等研修

(大阪府受託事業)

- 福祉サービス第三者評価調査者研修

(堺市受託事業)

- 認知症介護実践者研修等



年間研修計画[研修センター主催・施設主催]

■ 入職1年目職員

研修名	対象職員	内容	実施月
採用時研修	年度途中採用職員	法人理念・虐待防止・身体拘束・人権・接遇・緊急時対応・感染予防・認知症ケア障がいの理解・基本介護技術等	毎月2日～3日
新規採用職員集合研修	新年度採用職員	法人理念・虐待防止・身体拘束・人権・接遇・緊急時対応・感染予防・認知症ケア・障がいの理解・基本介護技術等	4月
リスクマネジメント研修	新規採用職員	介護事故等リスクの回避と対応	6月
感染症対策研修	新規採用職員	食中毒について	9月
メンタルヘルス研修	新規採用職員	セルフケアの基礎知識について	12月
OJT研修	新規採用職員	OJTの基本について	2月

■ 2～3年目職員

研修名	対象職員	内容	実施月
苦情対応研修		苦情発生のメカニズム、苦情対応の原則、苦情に至らないための取組	4月
接遇		話し方、接する際の態度について	7月
OJT研修		OJTの理解と実践	11月
アンガーマネジメント		感情のコントロールについて理解する	12月

■ 4年目以降の中堅職員

研修名	対象職員	内容	実施月
他職種連携		チームアプローチについて	6月
リーダー養成自己啓発研修(初級編)		次代の指導職に必要なマネジメント等について	7月～11月
リーダーシップ研修		リーダーの役割の理解について	7月
外国人介護人材受入支援事業所		外国人介護人材へのサポートのあり方、介護技術の指導方法等	7月～9月
アンガーマネジメント		感情のコントロールについて理解する	12月
OJT研修(実践編)		OJTの理解と実践	2月

■ 主任「指導職研修」

研修名	対象職員	内容	実施月
主任昇任者研修	主任昇任者	指導職としての役割、管理業務などを学ぶ	5月
リーダー養成自己啓発研修		次代の管理者に必要なマネジメント等について	6月～2月
第1期人事考課者研修	主任昇任者	職員評価制度における考課の視点	8月
リスクマネジメント研修		災害時の施設管理及び事業継続	10月
第2期人事考課者研修	主任昇任者	職員評価制度における考課の視点、中間面接及びフィードバックの方法	12月
OJT研修(実践編)		OJTの理解と実践	12月
メンタルヘルス研修		ラインケアの基本について	2月

■ 総括主任「管理・指導職研修」

研修名	対象職員	内容	実施月
総括主任昇任者研修	総括主任昇任者	指導職としての役割、管理業務などを学ぶ	5月
リーダー養成自己啓発研修		次代の管理者に必要なマネジメント等について	6月～2月
(介護)カスタマーハラスメント研修		苦情対応、処理の対応方法について	8月
(在宅)カスタマーハラスメント研修		苦情対応、処理の対応方法について	9月
メンタルヘルス研修		ラインケアの基本について	11月
(介護)リーダーシップ・フォロワーシップ研修		信頼関係の構築、模範的フォロワーについて	2月

■ 科長『管理職研修』

研修名	対象職員	内容	実施月
科長昇任者研修	科長昇任者	管理職としての役割、管理業務などを学ぶ	5月
(介護) リスクマネジメント研修		災害時の施設管理及び事業継続	7月
(在宅) リスクマネジメント研修		災害時の施設管理及び事業継続	8月
財務管理研修		財務管理に関する知識と役割について	10月
メンタルヘルス研修		ラインケアの基本について	11月
(介護) マネジメントスキル研修		適切な目標設定、組織運営	1月

■ 専門職研修

研修名	対象職員	内容	実施月
自己決定支援について	障がい	自己決定の必要性	6月
介護保険について	訪問介護	自立支援の大切さ	7月
嚥下障害について	機能訓練指導員	嚥下障害の評価・訓練、食事摂取時の適切なポジショニング	8月
相談援助について	生活相談員	相談援助について	9月
医療的ケアについて	看護師	看護師の役割について	10月
LIFEについて	相談員（デイ）	活用・運用方法について	11月
相談援助について	居宅（ケアマネ）	相談援助に必要な技術について	12月
嚥下食について	栄養士	嚥下食の調理方法について	1月
環境の整備について	保育	事故防止策、遊具の配置や動線の確保について	1月
障がい者支援について	包括（ケアマネ）	介護保険サービスへの移行について	2月

■ 受験対策セミナー

研修名	対象職員	実施月
介護支援支援専門員受験対策セミナー	受験予定者	6月～8月
介護福祉士受験対策セミナー		9月～12月
介護福祉士受験直前対策セミナー		12月～1月

■ 施設主催

研修名	対象職員	実施月
OJT研修・フォローアップ研修	全職員	随時

■ 基本・法定研修

研修名	対象職員	実施月
人権研修（法令遵守・プライバシー）	全職員	各施設年間計画書参照
虐待防止研修		
身体拘束廃止研修		
接遇研修		
個人情報研修		
事故防止・発生時の対応		
感染症および食中毒対策研修		
リスクマネジメント研修		
褥瘡予防		
苦情対応研修		
BCP（業務継続計画）研修		
看取り研修		
ハラスメント研修		
認知症研修		

令和7年度

事業別実施目標

■ 特別養護老人ホーム・短期入所

施設名		特養 目標利用率	短期入所 目標利用率(介護・障がい)	計 目標利用率
特別養護老人ホーム美原荘	特養120名 短期20名	96.1%	122.0%	100.0%
特別養護老人ホーム美原荘「すこいの郷」	特養29名 短期10名	98.0%	106.6%	100.2%
特別養護老人ホーム春日丘荘	特養120名 短期12名	95.6%	134.7%	99.1%
特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」	特養29名 短期11名	95.6%	111.8%	100.6%
特別養護老人ホーム四條畷荘	特養120名 短期10名	95.0%	156.0%	99.7%
特別養護老人ホーム光明荘	特養120名 短期20名	94.4%	129.5%	99.5%
特別養護老人ホーム高槻荘	特養100名 短期10名	97.8%	130.3%	100.8%
特別養護老人ホーム白鳥荘	特養90名 短期10名	95.9%	135.0%	99.9%
特別養護老人ホーム豊寿荘	特養50名 短期10名	98.1%	114.8%	100.9%
特別養護老人ホーム永寿園とよなか	特養29名 短期11名	98.1%	110.3%	101.5%
特別養護老人ホームみずほおおぞら	特養29名 短期11名	99.2%	105.7%	101.0%

■ 老人保健施設

施設名		老健 目標利用率	短期療養 目標利用率	計 目標利用率
老人保健施設かがやき	老健95名 短期5名	91.0%	160.0%	94.5%

■ 養護老人ホーム

施設名	種別	定員	目標利用率
東大阪養護老人ホーム	一般	80	97.5%
	特定	70	88.6%
	合計	150	93.3%
養護老人ホーム四條畷荘	一般	15	97.3%
	特定	35	95.1%
	合計	50	96.0%
豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか	一般	40	97.0%
	特定	30	95.7%
	合計	70	96.5%

■ 軽費老人ホーム

施設名	種別	定員	目標利用率
軽費老人ホーム（ケアハウス）和風荘	一般	40	97.5%
	特定	30	97.1%
	合計	70	97.3%
軽費老人ホーム（ケアハウス）豊寿荘	一般	50	97.9%
	特定	50	97.9%
	合計	100	97.9%
軽費老人ホーム万寿荘		50	97.2%
軽費老人ホーム河南荘		90	97.8%

■ 施設入所支援（障がい）

施設名	種別	定員	目標利用率
みずほおおぞら		21	97.9%

■ 通所介護（通所リハ含む）

施設名		目標延利用人数				目標利用率
		介護	通所型	障がい	合計	
美原荘デイサービスセンター	42名	10,229	1,159		11,458	88.2%
春日丘荘デイサービスセンター	40名	10,147	479		10,626	84.9%
沢池デイサービスセンター	月曜日～土曜日45名 日曜日30名	12,691	1,320		14,011	89.5%
南茨木デイサービスセンター	月曜日～土曜日45名 日曜日30名	13,761	336		14,097	90.1%
四條畷荘デイサービスセンター「はほえみ」	37名	9,523	618		10,141	88.1%
光明荘デイサービスセンター	40名	9,007	656	1,001	10,664	86.3%
高槻荘都家デイサービスセンター	40名	9,687	1,268		10,955	88.9%
箕面市立光明の郷ケアセンター	31名	7,973	192	120	8,285	85.9%
デイサービスセンター「ふれあい」	18名	4,531	372		4,903	87.9%
豊寿荘老人デイサービスセンター「ゆたか」	40名	10,196	1,056		11,252	90.7%
原田デイサービスセンター「ねいろ」	45名	11,587	1,144		12,731	92.0%
服部デイサービスセンター「かなで」	45名	11,990	850		12,840	90.5%
高川デイサービスセンター「ひだまり」	45名	11,137	1,484		12,261	90.5%
デイサービスセンター春日丘荘「彩の家」	10名	2,636	0		2,636	85.0%
高槻荘やすらぎデイサービスセンター	12名	3,282	0		3,282	88.8%
かがやき通所リハビリテーション	47名	9,065	888		9,953	87.1%

<https://www.osj.or.jp/>
〒562-0012 大阪府箕面市白島三丁目5番50号
TEL.072-724-8166/FAX.072-724-8165